

## 学園 & 地域交流ネットワーク 第 5 回総会

### 2007 年度 活 動 報 告

2008 年 4 月 26 日に開催された「学園 & 地域交流ネットワーク」第 5 回総会で報告された「2007 年度活動報告」を抜粋し、以下に掲載します。

#### 2 - 1 情報交流

##### 2 - 1 - 「フレスター」(交流ニュース)の発行

2007 年 2 月第 31 号 ~ 2008 年 3 月第 39 号 (計 9 回)

##### 2 - 1 - ホームページ

2007 年度はあまり情報更新ができなかった。

#### 2 - 2 ゆめ広場部会

ゆめ広場は 2006 年 4 月 24 日に開設して以来、会員はじめ地域の皆様のご理解とご協力によって今日まで、民設・民営の「街なか交流拠点」として活動してきた。2 年を経過した現在、ゆめ広場の存在は折尾の住民・学生・生徒にかなり定着してきた。また自治体や大学ゼミなどによる見学も行われるようになってきた。

ゆめ広場開設当初から 11 月までは朝 10 時から夜 8 時まで 10 時間を出来るだけ 2 人体制・無休で運営してきたが、この長時間の体制を組むことが次第に難しくなり、また来場者のマナーも素晴らしいものであることを考慮して、それ以降、午前中は無人開放することにした。

ゆめ広場の利用状況は概ね以下のようになっている。

- ・休憩、友達などとの語り合い・待ち合わせ、バス・電車待ち、食事、勉強など
- ・年齢層は老若男女と幅広いが、特に高齢者と高校生が多い。
- ・介護ベッドも、高齢者、赤ちゃんのオムツ替え、急病者などに利用されている。

スタッフとの交流・お世話

- ・こちらから声を掛けることによって様々な交流が生まれている。
- ・緊急時のことを考えてご家族への連絡先を聞いておく。
- ・バス時間に乗り遅れないように案内してあげる。

・広場で取り扱っている各種リサイクル品収集の紹介と受付

諸団体のポスター・チラシなどの受付・掲示

クリスマス会、手芸教室などの開催、手製エコバッグなどの販売

#### 2 - 3 人にやさしい街づくり部会

折尾のまちづくり全般について、調査活動や、提案活動などを積極的に行う。

折尾駅のホームかさ上げの際、待合室への階段をスロープにしてもらえた。

「まちねっと」に参加する(別記 2 - 5 - )

#### 2 - 4 若者部会

学生メンバーが中心となり「折尾くちこみマップ」を作成中である。

##### 2 - 1 - 「フレスター」(交流ニュース)の発行を参照

北九州一円の大学を中心とした活動のキタキュウソウルに参加し交流を行う。

青年未来塾 NPO 化記念パーティーに招かれ、多彩なボランティア活動団体と交流を持った。

#### 2 - 5 地域交流事業(他団体との交流)

##### 2 - 5 - フレスターコラボ 2007

地域通貨オリオンの「ひとつぼてん」と協働して、2007 年 11 月に九州女子大学の

大学祭で開催。地域の団体や学生と交流を深めた。

#### 2-5- おりお未来21協議会

折尾地区総合整備事業を機会に新しい折尾のまちづくりを創りあげるために、様々な団体が北九州市とパートナーシップのもとに設立され参加する。

運営委員会、おりお未来21協議会の運営委員として副代表が参加

生活・安全部会、学園&地域交流ネットワークから6人が参加

2007年5月14日～2008年3月18日(計12回)

#### 2-5- 折尾駅舎・堀川運河を保存する会(折尾駅の歴史的価値を考える会)

折尾駅舎保存の構成団体として参加し、歴史を継承したまちづくりのための街づくりを提案すると共に署名活動で折尾駅舎の保存を呼びかけた。

シンポジウムや写真展の開催、2007年2月～2008年3月(計5回)

署名活動で「折尾駅舎・堀川運河」の保存の呼びかけ、2007年9月～現在

#### 2-5- 北九州市福祉のまちづくりネットワーク(まちネット)

誰もが住みよいまちづくりのための意見交換会・現地調査・学習・検討などを関係行政・企業・障害当事者団体・専門家で行った。

定例会 隔月第3水曜日、点検活動(11ヶ所を点検し、提案を行う)

説明会や検討会、2007年5月16日～2008年3月19日(計8回)

#### 2-5- バスハイク

昨年に引き続き、2007年11月3日、(株)総合システムさんのご厚意で「ガスならできる展」のバスハイクに大学生や留学生と共に参加(大型・中型バス)。

「ガス展」では、ガスが創りだす暖かみのある快適で健康な暮らしを体験し、次に佐賀県の七山村で「みかん狩り」をし、吉野ヶ里歴史公園に行った。

「みかん狩り」が、初めての人が多く、国際交流や親睦が深まり有意義だった。

#### 2-5- 北九州市民カレッジ

「ボランティアコーディネート能力」開発セミナー上級編 実践力アップ!』受講から端を発し、2007年度前期・後期の市民による企画講座2講座に、学園&地域交流ネットワーク会員7名が参加、企画・運営に加わった。

前期(市民による企画講座vol.2) 2007年5月30日～7月18日(計9回)

遊んで!学んで!ネットワークを広げよう～知ることからはじまる!新しい自分探し～7月の歴史探訪と新しい街並みは、「ゆめ広場」で集合し、折尾駅周辺を散策しながら身近なまちの魅力を再発見する企画となった。

北九州市の魅力を紹介する「フィルムコミッション」のビデオに、当会会員の「門司港バナナの叩き売り」の中岡氏が出演されていた。

後期(市民による企画講座vol.3)

2007年11月14日～2008年1月30日(計10回)

「ぼけてもいいよ」といわれたい～安心ライフプランづくり講座～

おとなりさんネットワーク「えん」との交流が深まり、認知症第1回北九州大会発足時からの草の根ネットワークに加わるメンバーも出るようになった。

#### 2-5- 北九州市民サミット

市民活動の共有により、よりよい活動のための援助を受けられる機会をつくる北九州市民サミットが開催され参加する。

2007年4月14日 プレゼンテーション型で参加し発表。

2008年4月19日 ブース型で参加。(運営委員としても参加)

## 2-5- 御学友

九州女子大学内の生涯学習研究センターに関わる方が集い、情報交換や親睦を深める「御学友」で、当会の活動などを積極的にPRした。

定例会、毎月第3木曜日、13時～14時半（耕雲館）

## 2-5- 地球のステージ1&2in北九州 2007

2007年7月14日にムーブフェスタで開催予定の「地球のステージ」は、台風で中止されたが、桑山氏のご厚意で「ミニライブ」を開催した。「すべてのことには意味がある」と言われた言葉のとおり、様々なことが勉強となり人の温かさが実感できた。

## 2-6 助成金

「地域ボランティア活動支援促進事業助成金」が、平成18年度～20年度の3年間で30万円の助成金のため北九州市の助成金には応募できない。

## 2-7 講師・講演活動・取材等

当会の活動が認められ、様々なシンポジウム等で発表をすることができた。

2007年2月3日 西日本フォーラム・シンポジスト、2月11日 八幡西区ボランティアフェスタ発表、2007年2月26日 北九州市 NP サポートセンター NPO 活動発表会、2007年冬号 福岡県 NPO・ボランティアセンター Con te 5号掲載、11月1日 「住宅情報タウンズ」の北九州版 11月1日号特集「折尾の魅力徹底調査！ゆめ広場の人に聞きました」に写真付で掲載される。

## 2-8 セミナー活動の充実

### 2-8- 命の授業、

心理カウンセラー米倉けいこ先生をお招きしての大人も学ぶ「命の授業」は、毎回テーマを決めての参加型ワークショップで、そこに参加される方が感じるワークなので、何かに気づかれている姿がとても素敵で、勇気をいただいた。

2007年4月21日～2008年1月30日(計7回)

## 2-9 世話人会の運営

10月以降、「ゆめ広場」の存続問題を議論するために、頻繁に世話人会(ワークショップ2回を含む)を開催し、財政問題や広場の運営問題について検討をかさね、2008年2月13日には、「ゆめ広場」の存続問題について臨時の総会を開催した。この中で財政状況の改善するためのいくつかの提案(会員・賛助会員の拡大、募金活動、広告募集など)をするとともに、ゆめ広場の当番(居るだけボランティア)への協力を会員に訴えた。「ゆめ広場」の存続のための収入増加対策を早急に具体化することが緊急の課題であり、会員・賛助会員の協力が必要である。

今期の世話人は14名(内2名は学生)で発足したが、各世話人が多忙であることが主たる原因となって、会議への出席者は委任状を含めて成立することが多かった。

2007年2月22日～2008年3月26日(計18回)

## 3. 会計報告と予算

3-1 2007年度決算報告(承認)、3-2 会計監査報告、3-2 2008年度予算

## 4. 会則改定

4-1 名称変更；会員 正会員（理由；賛助会員との区別をはっきりさせるため）

4-2 付則1の文中の正・賛助会員の会費の有効期限を6ヶ月から9ヶ月に変更。

## 5. 役員改選

2008年度役員(フレスター41号・総会特集号表紙に掲載)